

2016年度 修士論文発表コンテスト 兼 第165回スポーツサイエンス研究会

文部科学省スーパーグローバル大学創成支援
早稲田大学スポーツ科学学術院健康スポーツ科学モデル拠点 協賛

○日時:2017年2月13日(月)13:00~

○会場:早稲田大学 所沢キャンパス 101号館 201教室

《プログラム》

13:00 開会の挨拶

<セッション1> 座長:田邊元 先生

13:05 - 13:20 小型センサーを用いた自動ランニングコーチングシステム

金小康(誉田研究室)

13:20 - 13:35 アスリートの「あがり」を防止する新しいトレーニング法に関する研究

吉川直輝(正木研究室)

13:35 - 13:50 運動前の糖質摂取は本当にインスリンショックを引き起こすか

近藤早希(樋口研究室)

13:50 - 14:05 踵部脂肪褥の厚さ及び機能の発育・加齢変化とスポーツ活動の影響

阿部平(鳥居研究室)

14:05 - 14:20 筋の弛緩および収縮が同肢内の他筋の活動に及ぼす影響

国分真秀(彼末研究室)

14:20 - 14:35 児童の運動有能感を高めるための

ゴール型サッカーの学習指導プログラムに関する研究

鈴木朋也(吉永研究室)

14:35 - 14:45 休憩

<セッション2> 座長:川上諒子 先生

14:45 - 15:00 女性アスリートの月経周期によるエネルギー・アベイラビリティの検討

御所園実花(田口研究室)

15:00 - 15:15 短距離走の加速局面における

主観的努力度の変化とキネマティクスおよびキネティクスの関係

欠畑岳(礒研究室)

15:15 - 15:30 障害者スポーツを通じた国際協力に関する研究

—アジアの障害者活動を支える会を事例として—

遠藤華英(間野研究室)

- 15:30 - 15:45 成熟度を考慮した成長期サッカー選手の方向転換能力に関する研究
中村隼人(広瀬研究室)
- 15:45 - 16:00 レジスタンストレーニング後の水治療法が
免疫機能と自律神経活動に及ぼす影響
伊藤大永(赤間研究室)
- 16:00 - 16:10 休憩
- <セッション3> 座長:加藤孝基 先生
- 16:10 - 16:25 肩甲骨周囲筋トレーニング時の筋活動解析 —深層筋の菱形筋に着目して—
安達玄(金岡研究室)
- 16:25 - 16:40 就労者における座位行動の実態および
座位行動減少を目的とした環境整備の実際
北村歌菜(岡研究室)
- 16:40 - 16:55 大腿部深筋膜の形態的・力学的特性の定量評価
大塚俊(川上研究室)
- 16:55 - 17:10 放映権一括管理の合理性
—スペインサッカーリーグ放映権管理システム移行に着目して—
滝本純也(武藤研究室)
- 17:10 - 17:25 運動誘発性急性腎傷害の機序とタヒボポリフェノールの作用
荻野目夏望(鈴木研究室)
- 17:25 - 17:40 DOMS発現時に行う伸張性収縮運動が次のDOMSに与える影響
山口翔大(岡田研究室)
- 17:40 閉会の挨拶
- 18:10 - 表彰式&懇親会(100号館3階生協食堂)



早稲田大学 スポーツ科学学術院
Faculty of Sport Sciences, Waseda University

世話人: 正木宏明・枝伸彦・霜島広樹
早稲田大学スポーツ科学学術院
E-mail: nob-eda@aoni.waseda.jp